

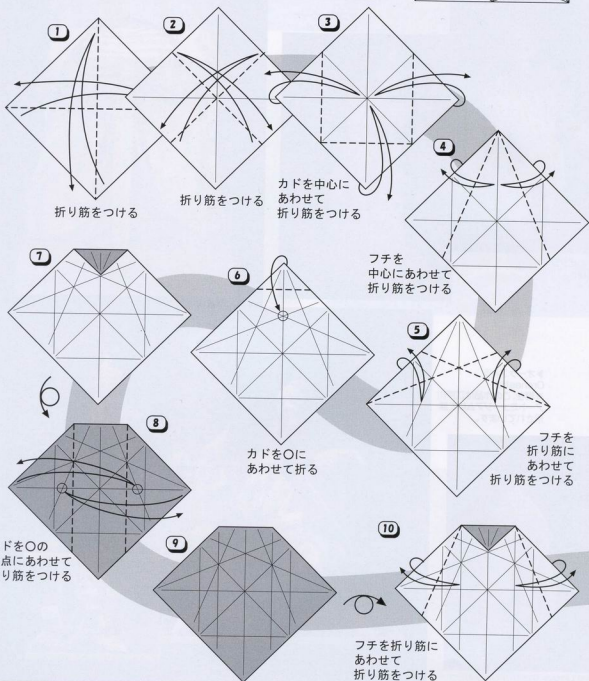
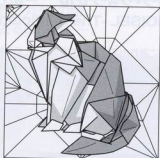


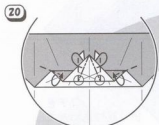
猫 Cat



勝田 恭平
KATSUTA, KYOHEI

創作：2007/02
作図：2010/05

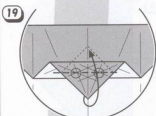




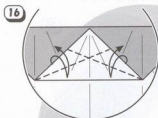
20
ついている折り筋で
内側にずらすように折る



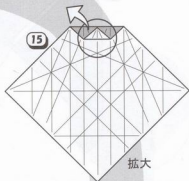
21
ついている折り筋で
内側にずらすように折る



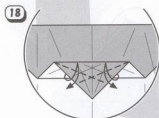
19
カドを折り筋の交点の
ところで折る



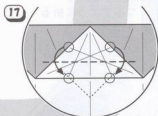
16
フチとフチをあわせて
折り筋をつける



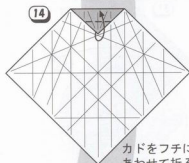
拡大



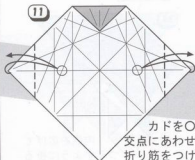
18
フチとフチをあわせて
折り筋をつける



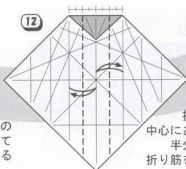
17
○のフチをフチに
あわせて折る



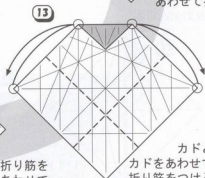
カドをフチに
あわせて折る



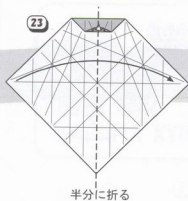
11
カドを○の
交点にあわせて
折り筋をつける



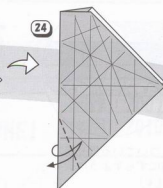
12
折り筋を
中心にあわせて
半分の幅で
折り筋をつける



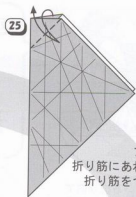
13
カドと
カドをあわせて
折り筋をつける



半分に折る



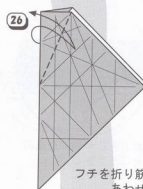
フチを折り筋にあわせて
折り筋をつける



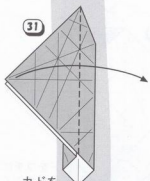
フチを
折り筋にあわせて
折り筋をつける



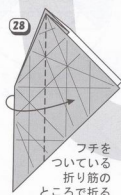
内側を広げて
つぶすように折る



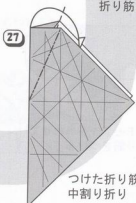
フチを折り筋に
あわせて
折り筋をつける



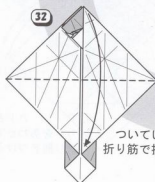
カドを
反対側へ折る



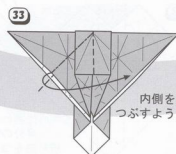
フチを
ついている
折り筋の
ところで折る



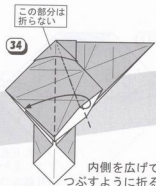
つけた折り筋で
中割り折り



ついている
折り筋で折る

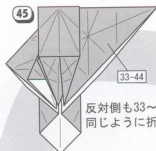


内側を広げて
つぶすように折る



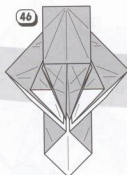
内側を広げて
つぶすように折る

45

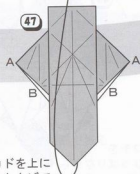


反対側も33~44と
同じように折る

46

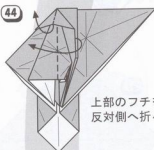


47



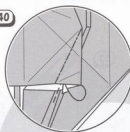
カドを上
に持ち上げて
立体的な状態にする

44



上部のフチを広げながら
反対側へ折る

40



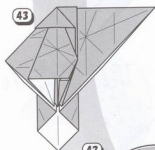
ついている折り筋で
内側に折り込む

39

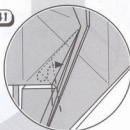


フチを折り筋にあわせて
折り筋をつける

43



41



内側のカドを
39でつけた折り筋で
中割り折り

38

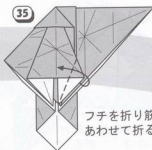


●部分をつまんで
内側の紙を引き出す

42

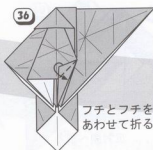


35



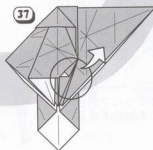
フチを折り筋に
あわせて折る

36



フチとフチを
あわせて折る

37



48

A B A B

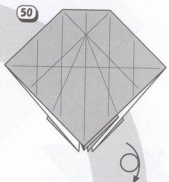
フチを
ひっぱりながら
付いている折り筋で
平らになるようにする

49

B A B A

ついている
折り筋を使って
平らに折りたたむ

50



54

ついている
折り筋で
中割り折り

53

ついている折り筋で
中割り折り

51

下の一枚を残して
全てのカドを折り上げる

55

カドを反対側に
折りながら
起き上がった部分を
折りたたむ

52

ここで筋が出ていない
場合は出しておく

半分に後ろへ折る

56

途中の図
起き上がったフチを
フチにあわせて折る

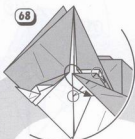
57

カドを
反対側へ折る

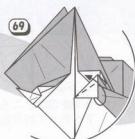
58

反対側も55~57と
同じように折る

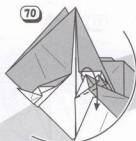
55-57



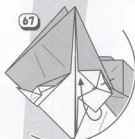
カドと前工程でつけた
折り筋の○を結ぶ線で折る



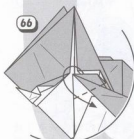
カドを斜めに折る



66でつけた
折り筋で折る



折り筋をついたら
カドを戻す



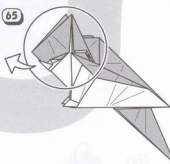
広げられるいっぱいの
ところでカドを折る



反対側も59~63と
同じように折る



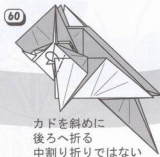
ひきよせるように
内側に折り込む



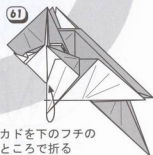
フチとフチを
あわせて折る



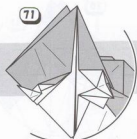
カドをついている
折り筋で下へ折りながら
起き上がった部分を
広げてつぶすように折る



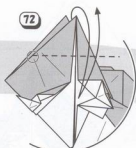
カドを斜めに
後ろへ折る
中割り折りではない



カドを下のフチの
ところで折る



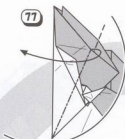
71
反対側も66~70と
同じように折る



72
カドを○のところから
下へ折って折り筋をつける



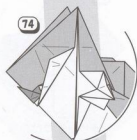
73
カドを前工程でつけた
折り筋の○と○を
結ぶ線で折る



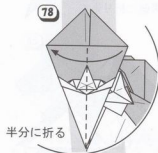
77
内側を広げて
つぶすように折る



76
カドを反対側へ折る



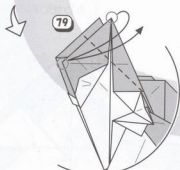
74
■部分を
手前に出す



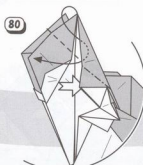
78
半分に折る



75
反対側も72~74と
同じように折る



79
カドとカドをあわせて
折り筋をつける



80
つけた折り筋で
中割り折りの
ように折る

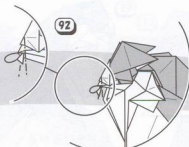


81
カドをひろがる
ところで折る

91

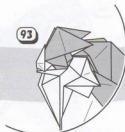


92



カドを小さく
内側へ折り込む

93

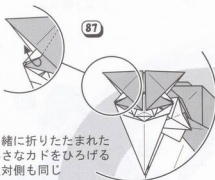


90



あごの部分を引き上げながら
顔を半分に残るへ折る
角度は次図の○にあわせる

87



一緒に折りたたまれた
小さなカドをひろげる
反対側も同じ

86



カドをひろがるところで
斜めに折る

89



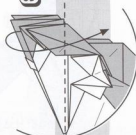
カドを一番奥のすきまに
差し込むように折る

88



カドを反対側へ折る

85



カドを真ん中の
ところでひろげる

82



カドを下へ折って
折り筋をつける

83



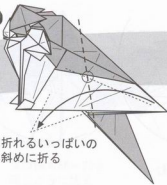
つけた折り筋で
中割り折り

84



反対側も79~83と
同じように折る

94



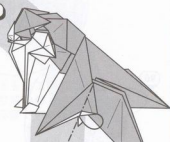
カドを折れるいっぱいの
○から斜めに折る

95



カドをひろがる
いっぱいのところで
折り筋をつける

96



つけた折り筋を使って
一番奥のヒダのところで
中割り折り

99



内側にあるカドを
ついている折り筋で
中割り折り

98



反対側も94~97と
同じように折る

97



手前の一枚を
はがすようにする

100



カドを
内側に折り込む

103



100でつけた折り筋で
カドを内側に折り込む

101



カドを
内側に折り込む

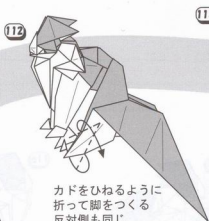
102



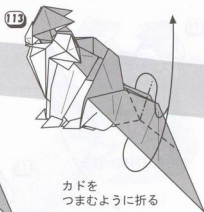
折り込んだカドを
100まで戻す



透視終了



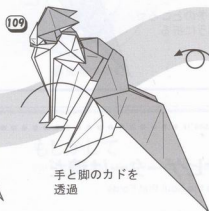
カドをひねるように
折って脚をつくる
反対側も同じ



カドを
つまむように折る



カドを内側に
折り込む



手と脚のカドを
透過



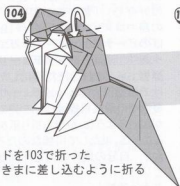
108



107

カドを106で折った
すきまに差し込むように折る

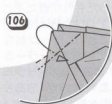
103-108の工程は
開き止めが目的のため
紙によっては省略可能です



カドを103で折った
すきまに差し込むように折る



拡大して
裏返す



106

101でつけた折り筋で
カドを内側に折り込む

114

カドを反対側へ折る

115

後ろのフチのところで
立てるように折る

116

フチをひろげる
ように折る

117

段折り



Orisuzi ("Fold-Creases")

ナビゲーターは魂だ

It is the Soul that Folds

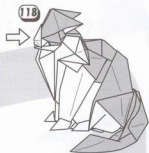
霞 誠志

Kasumi Seishi

去年のことになるが、江戸川近くの熱帯魚ショップで見かけたアロワナが折りたくなくなっている調べているうちに、五十嵐智祐さんのアロワナの写真を見つけた(第10回関西コンベンションの展示作品: 115号参照)。そこには鱗が折り出されたリアルなアロワナがあった。私が創りたかったものが既にそこにあった。急にアロワナ熱は冷め別な題材を探すことにした〜以前なら、既に折られているポピュラーな題材(アロワナはあまりポピュラーではないかもしれないが)であっても新しい表現を見つけないかという思いが強かった。今までに無いものを折ると公言もしていた。しかし、他のアプローチによるアロワナを折ってみようという思いにはいたらなかった〜このことが、自分の創作に対する考え方を見直してみる

きっかけになった。そして自分の創作に新たな要素「感情」をプラスしてはどうかと思うようになった。【折り紙には幾何学的背景と見立てという特徴がある。そこで、線と面で構成した形を仮に犬に見立てることが出来るなら、逆に喜怒哀楽のような感情に見立てられる様式化した折りが存在するのではないか。仮にこれを「感情の基本形」と呼ぶことにする】この「感情の基本形」を形にするために「目の表現」、「手の表現」、「体全体での表現」のように幾つかの部分に分けて考えてみることにした。今は「目の表現」を考えている。探偵団マガジンの折線雑考の中で目黒俊幸さんが、「若い女性の顔の折り方」を具体的に語っている記事が大変参考になった。以前にも猿の面などで目を折り出しているが、今回はその情報量を増やしてみた、しかし情報を多く詰め込もうとすればするほど、折

り紙の性質上、出で欲しくない線が多くなる、そして未だに「目の表現」については納得のいくものは出来ていない。そこで気分転換に作品の感情表現を補助するツールという感覚でタイトルを考えてみた(これはタイトルだけで作品はまだ無い)。ここでその幾つかを紹介します。<「森に住む」小鹿とリスの好奇心>、「蒼い森の銀狐」、「南の島のコタンコルカムイ」、「田んぼのピーナス」女蛙〜アマガエル〜誕生>、「光と影〜メデューサの憂鬱」> これをただ形にしただけでは意味がない、メデューサの憂鬱での最終目標は作品を見て涙が溢れるような、泣ける折り紙を折ることだ。果たして可能なのだろうか? 自分の創作は何処へ向かっているのだろうか……ナビゲーターは魂だ。



正面から見る



できあがり



耳をひろげる



鼻先をつまむ

折紙三昧 ⑤③

Origami-Zanmai (This Origami and That)

もしかして

I'm Sorry If You Mind, But Did You Mean ...?

インターネットの検索はホントに便利です。適当なキーワードを入れて、検索ボタンを押すだけで、たちまち関連する話題が洪水のように出てきます。あらためて言うまでもなく、仕事でも、プライベートでもこの検索機能の便利さを手放すことは考えられなくなっています。それでも、やや古い人間に属する私は、検索した結果の信憑性や情報の責任の所在については、結構不安を感じます。仕事場で部下や同僚がネット検索してきた情報を鵜呑みにしないように、検索先の記述の合理性をどう考えるか、情報ソースが記載されているかなど、ちょっと口うるさく言ったりしてしまいます。情報の本当のオリジナルに到達するのは希だと覚悟しておかなくてはなりません。

ん。一種のネットリテラシーとでもいえるのでしょうか。まあ、由緒正しい論文でも孫引きの参考文献の記載は怪しいことも多いので、今にはじまったことでもありません。

さて、何時の頃からか(*), 検索最大手のGoogleにうろ覚えや不正確な検索語に対して「もしかして」と正しいかもしれない検索語の候補を示してくれる機能が登場して、これも重宝します。英語版は、「Did you mean?」のことでありますが、英語の語感には分かりませんが、「もしかして」と聞かれる日本語の語感には悪くありません。さり気なくあなたのお探しのものは、これでしょうかと聞かれると「そうそう、それ、それ」と思わず独り言。

折紙者にとってこの感じ、ちょっとした既視感を覚えます。例えば、馬でも

創作しようか、と思って紙を折っていると突然、犬の形が見えて予定変更。そんなとき、折り紙の方からさり気なく「もしかして:あなたが折ろうとしたのは“犬”?’とささやいてくれたような気がします。

ネットでも、折り紙でも、人でも「もしかして」と優しく、さり気なくささやいてくれるのは有り難いことです。

* これまたネットで調べたところ2004年の後半に日本語版が登場しているようです。間違っていたらごめんなさい。私が気になり出したのは、その2年後くらいかな。

西川誠司 Nishikawa Seiji
日本折紙学会 評議員代表